

1 (1) 学校経営

令和5年度 学校経営方針

基本方針

グローバル化の進展やAIの飛躍的な進化など、社会は急速に変化している。このような予測不能の変化の激しい時代にあっても、「未来を生きる子どもたち」は、その変化をしっかりと受け止め、どんなに社会が変わろうとも、常にパイオニアとして自らの力で柔軟に対応し未来を切り拓いていかなければならない。

このような Society5.0 の社会を見据え、私たち教職員は、子どもたちが学校教育の中で、根拠に基づいた自らの考えを持ち、対話や議論を通じて他者の考えを理解し、自らの考えを広げ深め、多様な人々と協働することを通して「共に学ぶ力」を育ていける体制を整えることが重要である。そして、子どもたちに持続可能な社会を創造する能力をつけさせることが学校の責務である。

本校の教育目標は『夢をもち、変化する社会をたくましく生きぬく人間の育成』である。学校経営の基本は、児童一人一人のよさや可能性を引き出し伸ばすことを重点にし、学校で行う全教育活動を通して、それらの伸長を図るようにする。

特に、学びや心身の健康に大きな影響を与える「豊かな感性」については、すべての教育活動をとおして、発達段階を踏まえ意図的・計画的な活動により育ていきたい。そして、培われた「豊かな感性」を、さらに「理性につなげていく教育活動の推進」に努めることにより、新しい学びの創造の充実を図り、子どもたちとともに「通うことが楽しくなる学校」の実現を目指したい。

1 学校教育目標

『夢をもち、変化する社会をたくましく生きぬく人間の育成』

To nurture the students,

inspire them to pursue their dreams, and make them

capable of facing challenges in this changing world.

～豊かな感性を育み、理性につなげる教育の推進～

2 めざす子どもの姿

- ・夢や希望をもてる子ども
- ・学ぶことの楽しさや喜びを味わえる子ども
- ・美しいものや自然に親しみ感動できる子ども
- ・多様な仲間に寛容の心をもち思いやりある子ども

3 めざす学校の姿

- ・子どもが通いたくなるゆめ育む学校
- ・意図的に整備された自然環境いっぱいの学校
- ・地域に信頼され、社会に開かれた学校

4 めざす職員の姿

- 主体的に学び続ける職員
- 一人一人の子どもの個性を大切に伸ばす職員
- 自己の職責に責任をもち、互いに協力し合う職員（チーム村東小）
- 笑顔を忘れず、健康で明るく、子どもや保護者に信頼される職員

5 「生きる力」育成の重点

(1) 確かな学力と学びの創造

(知)

- ①個別最適な学びの実現
 - 基礎学力習得の充実
 - 自学、自習の推進
- ②生徒指導の機能を生かした学習指導の充実
 - 共感的な人間関係の構築
- ③協働的な学びの実現
 - 聴き合う児童の育成
- ④生活科・理科の研究の充実
 - 事象と対話する児童の育成

(2) 思いやりのある豊かな心の育成

(徳)

- ①特別支援の視点からの児童理解と積極的な生徒指導
- ②学級経営の充実（心の居場所作りとしての学級づくり）
- ③多様性に寛容の心をもつための指導
- ④日本語指導を含めた交流学习・共同学習の充実
- ⑤考え議論する道徳授業の充実
- ⑥感動体験の充実や心に響く語りの研究・読書活動の充実
- ⑦ユニバーサルデザインの視点に立った環境整備
- ⑧感動体験の充実や心に響く語りの研究・読書活動の充実

(3) 健康と体力・安全な生活態度の育成

(体)

- ①日常的・計画的な運動環境の整備
- ②日常生活における健康指導の充実
- ③感染症対策の徹底
- ③危険予知・回避能力・実践的態度の育成

6 令和5年度 経営の重点目標

- (1) 子供の可能性やよさを引き出し、伸ばす教育の推進
- (2) 理科教育を中心にして、各教科における主体的・対話的で深い学びの授業づくりの推進
- (3) 教育を核とした持続可能な地域社会の構築
- (4) ICTの活用した業務の見直しによる働き方改革の推進

7 教育実践方針

(1) 研究・研修の充実

- ・理科センターとしての使命を果たす
- ・理科、生活科の研究及び環境教育への関連付けを図り実践力を培う
- ・理科・生活科で研修したことを校外へ発信し、その是非を問う
- ・一人一人の子どもを大切にす特別支援教育に関する研修と機動的・機能的組織の構築に努める
- ・子どもの感性を育み理性に高める教育活動のあり方を構築する
- ・定期的に初若年研修を実施し、学ぶ職員集団の育成に努める

(2) 学習指導の充実

- ・学ぶ意欲を高め、基礎基本の定着を図る。
- ・望ましい学力観、指導観、学習観にたった学習指導法の改善に努める。
- ・思考、判断、表現の場面を必ず1時間の授業の中に入れる
- ・ICT機器を有効に活用した授業実践を推進する
- ・学年の発達段階に応じたSDGsの推進を行う
- ・教科担任制の充実を図り、児童の良さを多方面から認める

(3) 生徒指導の充実

- ・あいさつ、基本的生活習慣の確立に努め、健康で安全な生活態度の育成を図る
(まがた魔法の徹底)
- ・全教育活動を通して、お互いのよさを認め合える豊かな人間関係作りに努める
- ・意図的、計画的な異学年交流を実践し、偏見のない人間関係の確立を図る
- ・いじめ、不登校等の早期発見と、組織で迅速かつ誠意ある対応を推進する

(4) 特別支援教育の充実

- ・さくら学級との交流及び共同学習を通し、お互いの理解を深め、好ましい人間関係の確立を図る
- ・校内支援委員会を充実させ、迅速に関係機関との連携を行う
- ・ユニバーサルデザインを意識したわかりやすい授業づくりを行う
- ・通常学級担任、支援学級担任、日本語指導、介助員、学習サポーターなどが協力して、全学級の児童の指導にあたる

(5) 道徳教育の充実

- ・週1時間の道徳授業を大切に、全教育活動をとおして道徳的実践力の育成を図る
- ・道徳の時間(授業)のあり方や工夫改善に努め、子どもの心に響く道徳を実践する
- ・「考え議論する授業」をめざし、評価について研修を行う
- ・体験活動をとおして、集団や社会に貢献できる子どもを育成する
- ・生き物を飼う、育てることを通して「命への慈しみ」「自然への畏敬の念」を育成する

(6) 健康安全教育の充実

- ・余暇時間などを通し基礎体力を向上させるとともに、基本的行動様式を育成する
- ・年間を通した持久走・縄跳び運動・器械運動の充実を行う
- ・登下校の安全確保に努める
- ・災害時及び不審者などへの対策に万全を期し、安全確保と意識の向上に努める
- ・地域と連携して安全教育の推進を図る

(7) 教育環境の整備・充実

- 子どもの学習環境に適した教育環境の整備に努め豊かな感性・情操を育む
- まが玉池（ピオトープ）周辺と、「なかよし広場」の整備・管理を充実さし、子どもたちの感性を育む教育環境づくりを推進する

(8) 地域・家庭との連携

- 基本的な生活習慣、学習習慣を身につけさせるために保護者との連携を深める
- 家庭学習を充実させるための、保護者とのコミュニケーションや手だてを工夫する
- 地域人材を活用した学習活動や図書ボランティアの方などを招聘しての読書活動を充実する
- 子どもの地域を愛する心を育てるとともに、コミュニケーション能力を高めるための、地域とのふれあい活動の充実
- 子どもの力を地域でも発揮させるための手立て（地域に役立つ子）を創造する

(9) 職員のモラル・モラルの向上

- 互いに学び合い、高め合える職員集団を目指す
- 村上東小学校から不祥事を絶対に起こさない
- ICT を積極的に活用し、働き方改革を推進する（特に、勤務時間の縮減に努める）
- モラルアップ委員会の計画的な活動を推進する